

8. 単元名「染め物名人」(全 52 時間) 0次案

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解　◎思考・判断・表現　●学びに向かう力、人間性等 ＜キャリア教育の視点＞　【探究的な学びの視点】
一 学 期	「1年間を通して扱う材を決め、材について詳しく知る」(10)			
	・3年生の時は大豆を使って各クラス様々な探究をして楽しかった。 ・今、ナフサ不足で、ポテトチップスの袋が白黒になるほど、インクがなくて困っているらしい。草木染めとかしたら、楽しんじゃないかな！ ・去年、総合で T シャツを印刷したクラスがあったけど、身近にある草木染めなら、お金がかからないんじゃないかな。 ・藍という植物を染めると、緑じゃなくて藍色という青色に染まるみたいだからやってみたい。藍を育ててみたらどうかな。 ・自分たちで作ったオリジナルな模様の手ぬぐいで、運動会のエイサーを踊るのもいいね！ ・草木染めの時は思うように模様がつかないし、濃い色を出すのが難しかった…。次はもっと強く縛ってみる！	○昨年度の総合について振り返り、新年度の総合の学年テーマ「ものづくり」からイメージを膨らませ、学級のテーマを決める。(1) ○どんな染め方があるのか、種類や作り方を調べる。(1) ○藍を種から育てる(1) ○作りたい草木染めを選び、グループに分かれる。(1) ○作り方や材料を調べ、実際に草木染めを行う。(5) ○草木染めの振り返りを行い、次の活動に生かす。(1)	・昨年度の総合を思い出し、今年度のテーマに興味をもてるようにする。 ・草木染めの本を紹介し、「自分も作りたい！」という意欲が高まるようにする。 ・失敗しても次に生かせるように声掛けをする。 ※夏休み中、旅行先の染め物体験を行う中で、プロの技を知り、探究に生かそうとする児童も出てくると考える。	[1:課題を見出し、把握している] ＜③課題対応能力＞ ＜④キャリアプランニング能力＞ ○染め物には様々な種類や歴史があり、日本の誇れる伝統文化の一つであることを理解している。 ＜②自己理解・自己管理能力＞ ◎草木染めを探究していく中で、理想の色や模様を作るために、自分なりに考えながら行動している。
二 学 期	「自分の追究したい染め物を繰り返し作る。課題と向き合い、上手くなる」(26)			
	・夏休みに、藍染めや草木染めについて調べてみたよ！ ・季節に合わせた植物を使って草木染めをしたいね。 ・玉ねぎの皮は、給食の調理員さんをお願いしてもらおう！ ・思った通りの色にならないなあ…。 ・焼きミョウバンを使って、発色をよくしてみる？ ・布を豆乳で下処理しておくとし持ちがいいらしいよ！ ・藍を使って藍染液を作って藍染をしよう ・次は各グループで作った染料を組み合わせ合わせて混ぜてカラフルな作品を作りたい！ ・繰り返し練習していると慣れてきた！ ・藍染めに挑戦して、運動会に使うマンサージを作りたい！ ・藍染めを繰り返し行い、藍染を極めたい！	○グループごと異なる材料を使った草木染めに取り組み、より理想に近い色や模様を作るにはどうしたらよいのかを考え、探究する。(4) ○今までの染料作りから自分の課題を明確にして、やり方を試行錯誤しながら草木染めを行う。(4) ○完成した作品から振り返りを行い、「もっとこうしたい！」という願いをもち、その願いに向けて作り方の内容を再考する。(4) ○藍染めの作り方を調べ、前回までの草木染めの経験を生かして藍染めを行う。(4) ○藍染めを繰り返し行い、各自でマンサージのデザインを考え、完成する。(4) ○藍染めでオリジナルの T シャツを作る。(6)	・草木染めについてやってみたいこと、挑戦したいこと、楽しみなどなどを聞く。 ・今までの学習を生かせるように、学習の軌跡を残しておき、振り返りしやすいようにする。 ・1学期の草木染めから同様の準備手順を示し、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。	◎草木染めの楽しさや染め物の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。 [1:課題を見出し、把握している][2:課題解決の方法を考えている][3:協働して学んでいる] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞ ●自己の取組を振り返ることを通して、より理想に近い作品を作ろうと探究活動にすすんで取り組もうとしている。 ◎草木染めの楽しさや染め物の魅力発信を目指して収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞＜②自己理解・自己管理能力＞＜③課題対応能力＞ ＜④キャリアプランニング能力＞
三 学 期	「染め物の魅力を広める」「1年間の成果となる染め物展示会を開催し、保護者や地域の方を招待する」(16)			
	・桜町フェスティバルでオリジナルのクラス T シャツを着て、染め物の魅力を伝えたい！ ・自分たちの成長を、関わった方に見てもらいたい！ ・他の学年の人に、染め物の楽しさや魅力を紹介したい！ ・探究することが楽しかった！ ・おうちの人に褒めてもらえたのが嬉しい！ ・総合的な学習の時間での学びを生かして、5年生でも探究していこう。	○草木染めの種類や作り方をまとめる。(4) ○桜町フェスティバル等で染め物の魅力を紹介する。(2) ○おうちの方を招き、「染め物展示会」を開催するために準備をする。(8) ○今年度の成果と課題をまとめる。(2)	・今までの活動の写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えるよう促す。 ・今までの学習の軌跡について、児童が自分の成長を、実感をもって話すことができるようたくさん記録をとっておく。 ・染め物活動を通して学んだことを5年生につなげるためにキャリアパスポートを活用する。	○活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながまとめる方法が分かっている。[2:課題解決の方法を考えている] ●染め物の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。 [3:協働して学んでいる] ◎草木染めの楽しさや染め物の魅力を、伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、適切な方法で表現している。[4:学びを振り返り、次につなげている] ＜④キャリアプランニング能力＞＜②自己理解・自己管理能力＞

材（染め物）のもつ価値

- ・草木染めを繰り返し行い、新たな課題を見付け、その課題に向き合い探究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。
- ・草木染めで身近なものを作り、手作りのものと市販のものを比べ伝統文化の良さに触れることができる。
- ・自分の作ったオリジナルの色や模様を見てもらい、褒めてもらうことで達成感を得ることができる。
- ・染め方や色、模様などを繰り返し考え、試すことで、強いこだわりをもつことができる。
- ・本校には、桑、桜、梅、花梨、ビワ、柿、夏みかん等、草木染めに使える植物がたくさん生えていて染めたい植物を選択することができる。

材（染め物）に寄せる子どもたちの思いや願い

- ★草木染めや藍染めで染め物を楽しみたいと願っている。
- ☆草木染めを楽しんでいる。
- ☆色や模様を工夫することで、自分の理想のデザインを完成させたいと思っている。
- ☆草木染めについて深く知ることで、染め物の魅力を多くの人に伝えたいと考えている。

★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い